

えっとまめな介護だより Vol.4

介護職場における人材不足は全国的に深刻化しており、介護人材の確保が喫緊の課題となっています。こうした現状に対応するため、益田市では今年度から、介護人材の確保に向けて『介護お助け隊』事業や介護職場の認知度向上に取り組んでいます。

今回は、この春に介護サービス事業所に就職したばかりの4名の方に、介護の仕事についてインタビューしました！

★★インタビューにご協力いただいた皆さん★★ (社会福祉法人 梅寿会)

小川 慎之介 さん(18) 写真左

事業所：特別養護老人ホーム
「ますだ」ハイツ
業務内容：調理、食器洗い

高間 誠弥 さん(18) 写真中

事業所：特別養護老人ホーム
「ますだ」ハイツ
業務内容：食事、入浴等の介助



河村 みあ さん(18) 写真右

事業所：特別養護老人ホーム
くしろ宝寿苑
業務内容：食事、入浴等の介助

桐田 舞香 さん(18)

事業所：特別養護老人ホーム
「ますだ」ハイツ
業務内容：館内清掃、食事介助

就職の動機を教えてください

河村さん

中学生のとき、ひいおばあちゃんとの面会のため、介護事業所に行ったことがあります。その事業所はとても雰囲気良く、また、職員の方が笑顔で対応してくださった体験から、介護職にあこがれるようになりました。

小川さん

もともと料理をすることが好きで、料理関係の仕事をするのが幼いころからの夢でした。学生時代には、当施設で2回実習をさせていただきました。実習中、職員の方々が優しく指導してくださいました。

桐田さん

中学生のとき、実習で介護事業所に行きました。目の不自由な利用者の方が私の手を握り「手を握っていると安心する」と言ってくれたことがとても嬉しく、自分も利用者の方の役に立てる仕事がしたいと思うようになりました。

高間さん

私はおじいちゃん・おばあちゃんや、その年代の方々に恩返しをしたいという思いを持っていました。また、私の祖父、母、兄は介護従事者で、介護を身近に感じていました。中学生のときには自分も介護従事者になることを決め、明誠高校福祉科を目指して勉強しました。

やりがいを感じるのは

どんなときですか？

河村さん

利用者の方から「明日も一緒に○○しよう」、「今日も楽しかった。明日もよろしくね」などと声をかけていただくことがあります。自分のサポートが利用者の方の生活を豊かにしていると実感できるときです。

小川さん

食事の盛付けや色合いがきれいだと言っていたいたときです。また頑張ろうという気持ちになります。

桐田さん

利用者の方々の元気な姿や笑顔を見たときや、食事介助の際に腕を支えたりスプーンで口に食べ物を運んだりしたときに、利用者の方から「いつもありがとう」と言っていたいたときです。

高間さん

利用者の方からの「ありがとう」の言葉がとても嬉しいです。自分も元気になるし、やりがいにつながっています。

介護の魅力は何だと思いますか？

河村さん

仕事は忙しいですが、利用者の方々が楽しそうに話しているのを見ることが楽しいです。

小川さん

私は調理員のため、職員の方との関わりが多いです。おもしろい方がたくさん

んいて、悩んだときや落ち込んだときも、楽しませていただいています。

桐田さん

利用者の方々は、自分の身近にいるお年寄りの方々よりも高齢なので、おもしろい話を聞くことができ、いろいろなことを知ることができます。自慢できるとても良い仕事です。

高間さん

笑顔で「ありがとう」、「君がやってくれて嬉しい」など、感謝の言葉をかけてもらえることだと思います。また頑張ろうという気持ちになれます。

将来の目標は？

河村さん

5～10年後に、介護支援専門員やリハビリなど、他の職種の資格取得や仕事に挑戦してみたいと考えています。

小川さん

調理師免許をとりたいと考えています。また、先輩に教わったことを、新しく入る人に受け継いでいけるようになりたいです。

桐田さん

働きながら介護の専門知識や技術を身につけ、さまざまな資格を取得したいと考えています。最終目標は、介護福祉士の資格を取得することです。

高間さん

今はバタバタしていて仕事に対して見落としが多いです。何が起きてても

ち着いて臨機応変に対応でき、ほかの職員や利用者の方々にも信頼されるような職員になりたいです。

ゆっくり支払いができる「スローレジ」導入

ゆめタウン益田店（高津七丁目）では、高齢者や障がい者が気兼ねなくゆっくり支払いができる「スローレジ」を今年5月から導入しています。

見た目は普通のレジですが、「スローレジ」であることが分かるようにポスターなどを掲示し、急いでいる方には他のレジを利用するよう声をかけることで、高齢者や障がい者が自分のペースで支払いができるように配慮しています。

店内にある「お買い物リハビリデイサービスらくまち」の利用者は「小銭を出すのに時間がかかって周りを気にしていたので、嬉しいです」と喜んでいました。



【問い合わせ先】 市高齢者福祉課 ☎ 31-0218 ☎ 24-0181

～高齢者の皆さんへ～

緊急通報装置（サスケ）を利用してみませんか？

日常生活において不安があり、常に見守りを必要とする高齢者がいる世帯を対象に、緊急通報装置（サスケ）を貸与しています。



<サスケの主な特徴>

- ①緊急通報…コールセンターから救急車の要請などを行います。
- ②相談…日常生活の困りごと、健康相談などができます。
- ③安否確認…月1回、コールセンターから利用者へ安否確認を行います。

対象者

次の要件を全て満たす方を対象とし、市が利用者を決定します。

- (1) 市内に住所を有すること。
- (2) 日常生活において不安があり、常に見守りを必要とすること。
- (3) 65歳以上であること。
- (4) 同一世帯に介護のできる者がいない、または就労等により長時間不在になること。
- (5) 本人および同一世帯に属する者について、市税等の滞納がないこと。

利用料

月額200円（1台につき）

申請方法

お住まいの地区の民生委員を通じて申請してください。



【問い合わせ先】 市高齢者福祉課 高齢者福祉係 ☎ 31-0235 ☎ 24-0181